

令和7年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査実施要項

岩手県教育委員会事務局学校教育室

1 調査趣旨

各小・中・義務教育学校において、児童生徒一人ひとりの学習の定着状況と分析結果からつまずきの内容や要因等を把握し、一人ひとりを伸ばす指導の充実を図る。

また、明らかになった学習指導上の問題点を、各種研修会や学校訪問指導等の様々な教育施策に反映させることにより、本県すべての教員の指導力向上に資する。

2 調査内容

(1) 教科調査 (PBT により実施)、児童生徒質問調査

小学校及び義務教育学校第5学年 国語・算数、児童質問調査

中学校第2学年及び義務教育学校第8学年 数学・英語、生徒質問調査

※義務教育学校は、実施要項及び実施細目等調査実施に係る文書において、小学校第5学年を義務教育学校第5学年、中学校第2学年を義務教育学校第8学年とし、実施する。

(2) 学校質問調査

令和7年9月24日(水)～10月1日(水)の期間に、オンライン回答 (Microsoft Forms) により実施。

3 調査対象

当該学年全児童生徒を対象に調査を実施する。

・知的障がいの教育課程で学習している児童生徒については、児童生徒本人、保護者と合意形成を図りつつ、学校長が調査の実施の有無について判断する。

・支援を必要としている児童生徒に対しては、児童生徒本人、保護者と合意形成を図りつつ、学校長の判断により、別室での調査実施や時間延長など必要な配慮を行う。

・県立特別支援学校小学部第5学年、中学部第2学年の児童生徒のうち、希望する者に対して調査の機会を提供する。

4 調査実施日

(1) 期 日 令和7年10月1日(水) ※10月第1水曜日

※やむを得ない事情により、当日実施できなかった場合は、後日実施するかどうかについて、市町村教育委員会に相談すること。後日実施の場合は、全体の集計からは除外することとする。

(2) 時 間 1教科につき、小学校は45分間、中学校は50分間とする。

※児童生徒質問調査は、質問項目内容の関係上、教科調査終了後の「帰りの会」等の時間に実施すること。

5 調査範囲

国語 小学校第4学年までの学習内容及び第5学年の1学期までの学習内容とする。

算数・数学 前学年までの学習内容及び当該学年の9月までの学習内容とする。

英語 中学校第1学年までの学習内容及び第2学年の9月までの学習内容とする。

6 調査結果の取扱い

(1) 各学校の取組について

① 各学校においては、調査結果を十分に分析し、結果を基に事後指導を行うこと。

なお、問題用紙及び解答用紙は、調査実施後、速やかに児童生徒へ返却すること。

② 問題等については、「過去の諸調査問題の活用ガイドライン」(令和3年3月通知)に基づき、適切な活用を積極的に行うこと。具体的には、評価問題等の教材として活用することが考えられること。

③ 内容の定着状況を踏まえ、検証改善サイクルの視点から、自校の指導計画等の改善を図り、指導と評価の一体的な充実に生かすこと。

(2) 調査結果の情報提供について

県教育委員会は、次の①、②について本調査の集計・分析シートを作成し、各市町村教育委員会及び各学校に情報提供する。

① 各学校に対して、学校及び学級の状況、児童生徒の状況

② 市町村に対して、市町村の状況、所轄する学校の状況

(3) 調査結果の公表について

県教育委員会は、調査結果を研修事業の推進等、今後の教育施策に生かすため、県全体の状況について公表する。(各市町村及び学校の結果については、公表しない。)

調査結果が、学校・学級間の序列化及び競争につながらないように十分に留意するものとする。

7 その他

実施細目及び本調査の集計・分析シートの運用要項については、後日通知する。